

霊長類のくらし

日本モンキーセンターは、一九五六年十月十七日に出来ました。目的は①サルのかまのつことを研究九する。②やせいのニホンザルを守る。③人の病気の研究などに役立てる。④サルの仲間のつことを多くの人に知ってもらう。ためです。登録博物館になっている動物園は日本でここだけです。サルの種類は66種類で世界一です。ぼくたちがおとずれたとき、

チンパンジーは人がいっばいいると興奮してえさやりの時ガラスをけりました。チンパンジーは、人間に近いので、えさをやるにも豆を使わせるためえさをかくしたりして長時間をかけ、チンパンジーにストレスをあたえないようにしています。



熊本サングキヤリで

京都大学霊長類研究所ではボノボを飼育し研究しています。日本にはここにしかいません。ボノボはチンパンジーより上半身が小さく、チンパンジーと比べると、ヒトに近い動物です。ボノボはその反対で仲良くなりやすいです。親子はインシヤルでつながっています。

日本モンキーセンターで色々なサルの仲間がいてびっくりしました。リスザルが小さくてかわいく、セシも食べていておどろきました。サルを間近で見た旅だったので、すごく楽しかったです。

ヒト科



サル



住若 央豊